



刊行開始! / ポケット法学

さまざまな学部で学びやすい 新しいテキストシリーズが始まります。

このたび有斐閣では、法学を専門としない学生の皆さまに向けた、新しい法学テキストシリーズ「ポケット法学」の刊行を開始いたします。

日々の生活を「法」の観点から読み解き、また、「これは法的に問題になるのではないかと」気づくことができる法的センスを身につける——これが、本シリーズの根幹にあるテーマです。

本シリーズでは、さまざまなバックグラウンドを持つ学生が初めて法学を学ぶにあたって、「新しい世界を通じて、多様な考え方があることを自身の中で意識化できる」ことを目標に、読者の学びのポケットに「法学」という新しいアイテムをプラスします。



レベル: 初級 用途: 学習 対象: 学部 一般

2025年12月発売 / 左から順に282頁,308頁,324頁
定価 2,310円(税込) / 四六判 / 並製



BOOK INFORMATION

BOOK INFORMATION

Point わかりやすい解説と充実のツールで「学び」を徹底サポート!

章冒頭の「理解のポイント」が到達目標を示します

豊富な図表で視覚的な理解を助けます

具体的な理解へと導くケースを用意

興味を引くINTRODUCTION

解説では通読しやすいコンパクトさとわかりやすさの両立を目指しました

知識の定着を助ける確認問題も用意

図表 11-1 さまざまな決済手段

次ステップへ進むための読書ガイドや理解を深めるColumnなども充実

本書の解答とサイトリンク集はこちら

『あなたのキャリアと労働法』 原 昌登 著

「法学部以外の学生も学びやすい労働法の入門書」を目指して本書で工夫したことは、大きく次の2つ。1つは、労働法を学ぶ前提となる法学や民法の基本知識をしっかりと載せたこと、もう1つは、企業で働く人がキャリアを積む中で必要としそうな順序で章立てし、仕事と労働法の繋がりをはつきりと見せたことです。初めて法律書に触れる読者のために、文章の読みやすさにもこだわっています。大学生・一般市民・企業向けに数多くの講義をしてこられた、著者の原先生の御経験を存分に発揮していただきました。働くときのルールを確認したい社会人にもおすすめです。担当者自身も原稿を読んで、「そうだったのか!」と思うことが何度もありました。

『消費者法入門』 ——消費者と企業の視点から—— 原 昌登 著

「消費者法」と聞くと「クーリング・オフ」を思い浮かべ、消費者を保護してくれる法律という印象を持つ方が多いかもしれません。それは間違いではありませんが、消費者法の一側面に過ぎません。消費者法は消費者を守るだけでなく、企業等の事業者が遵守すべきルールでもあるのです。本書は、研究者と実務家が議論を重ねて共同執筆した、消費者目線での被害救済策はもちろん、事業者の視点から学ぶべき知識をも解説した革新的なテキストです。美容医療、サブスク、通販などの具体的なテーマに加え、消費者法の意義や未来までも幅広く取り扱っています。日々の生活やビジネスの場で役立つ一冊です。ぜひ、ポケットに入れて持ち歩いてください。

『いちばんやさしい知的財産法入門』 今村哲也 著

「この文章素敵だな、SNSで自分のものとして投稿しよう」「漫画で、有名カフェのロゴが入ったカップでコーヒー飲んでいるシーンを描くぞ」など、法学部生や専門家でもなくともそうした思いを抱くことがあるでしょう。本書は、法学を学んだことがない方でも、この現代必須教養の1つともいえる知的財産法をわかりやすく学ぶことができるよう、とことんまで配慮しました。まずUnit 1で、知的財産法に入る前に法学自体の特徴を解説することで、各Unitの理解を深めます。そしてUnit 2以降では、非常に明快な論旨・図表でそれぞれの法制度の基礎を学び、正誤チェックなどでその理解を試すことができます。ぜひ本書を読み、冒頭のセリフへの応答を考えてみてください。

以下続刊。ぜひご期待ください。

